

製品名: BS69 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab07672

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	ZMYND11
別名	ZMYND11; BS69; Zinc finger MYND domain-containing protein 11; Adenovirus 5 E1A-binding protein; Protein BS69
遺伝子 ID	10771.0
SwissProt ID	Q15326
免疫原	抗血清はヒト ZMY11 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 111-160

背景

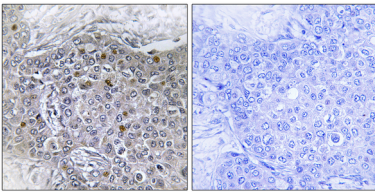
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、アデノウイルス E1A タンパク質に結合する能力によって初めて同定されました。こ

のタンパク質は核に局在します。転写抑制因子として機能し、E1Aの発現はこの抑制を阻害します。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが同定されています。[RefSeq提供、2008年7月]機能: アデノウイルス5型E1A 32 kDaタンパク質(289R)の転写活性化ドメインに結合し、その転写活性化活性を阻害します。アデノウイルスの複製を抑制することで、腫瘍抑制因子として作用する可能性があります。、PTM: DNA損傷時に、おそらくATMまたはATRによってリン酸化されます。、類似性: ブロモドメインを1つ含みます。、類似性: MYND型ジンクフィンガーを1つ含みます。、類似性: PHD型ジンクフィンガーを1つ含みます。、類似性: PWWPドメインを1つ含みます。、

研究分野

-

画像データ



ZMY11抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。